

# 春風

春日井市教育研究所

〒486-0913 春日井市柏原町1-97-1

TEL(0568)33-1114

FAX(0568)33-3157

題字 春日井市長 伊藤 太氏



カウントゲーム「みんなで ワン、ツー、スリー」(松山小学校)



教育委員  
野田 芳雄

私が小学生の時、夏の研修会で、ある和尚さんから聞いた話が今でも忘れられません。「君たちには、風呂敷のようになつてほしい。風

呂敷は、四角い箱でも書類でも包める。丸いスイカだって一升ビンだって包んで持ち運ぶことができるよね。どんな形の物でも包んでも見えるよ

ね。また、使い終わったらたたんでポケットに入れれば、邪魔にならなくなるよね。だけど鞄は、用途に応じて形が決まっているから、ランドセ

ルには教科書を入れることができるけどスイカは入れられないよ。ビジネスバッグは、書類を入れるのには便利だけど箱は入れられないよね。

この話を聞いてから、私の座右の銘の一つが「風呂敷のような人になる。」となりました。風呂敷のような人になると、やさしくその人に合った接し方ができる人になってほしいと思います。」そんなお話をしました。

この世の中がもつと生きやすく幸せなものになっていくためには、皆が一人一人の違いを認め合い、人の痛みがわかるやさしさが必要だと思いません。一人一人、社会全体が風呂敷のような寛容さを持ち、一人一人が主体的に生きます。

風呂敷の話を思い出しこんなことを考えました。

## 風呂敷のようない間になりなさい

なつても鞄自体は持つて歩かなければいけないでしょ。鞄は、使い方が決まってしまっているんだね。

人としての在り方に、風呂敷のような生き方と鞄のようない生き方があると思います。人と接するときや、物事に対処するときに風呂敷のように、臨機応変に相手に合わせて対応できるといいね。鞄のようない生き方で決まってしまって、対応できる使い方が限られているような生き方では、人と接するときや、物事に対処するときに相手に合わせられないね。だから皆は、風呂敷のような人になつてほしいと思います。人を思ひやり、やさしくその人に合った接し方ができる人になつてほしいと思います。」そんなお話を聞いてから、私の

女性のハンドバッグは、小物を入れるには便利だけど書類を入れられないよね。女性のハンドバッグは、小物を入れるには便利だけど書類を入れられないよね。

ところで、現代は、物質的には豊かで恵まれているのに生きづらい時代だといわれています。無縁社会と言われ、人間関係が限りなく希薄化す



# 令和元年度 創意と活力のある学校づくり推進事業 推進校紹介

令和元年度は、新規七校、継続十七校、計二十四校が推進事業を行っています。その中で、継続校の出川小学校、西部中学校、石尾台中学校の紹介をします。



学び合う子どもたち

本校では、わかりやすい授業をめざして、「学習規律の徹底とICTの有効活用」を柱として実践研究を繰り返していました。現在は、これまでの実践をさらに深化させ、新規指導要領のめざす主体的・対話的で深い学びを実現するために、東京学芸大学の高橋純先生と常葉大学の佐藤和紀先生の指導のもと、「学習過程」を意識し、「話す、聞く、書く、読む、調べる」などの学習スキルを段階的に育てる実践研究に取り組んでいます。この中で、児童の情報活用能力の育成をめざす「ICTの日常的活用モデル」の確立もめざしています。さら

るプログラミング的思考の育成についても、カリキュラムを開発し実践を進め、市内各校で実践に役立つようにしていきます。

今年度は特に、学習過程の中で「情報の収集」「整理・分析」の場面でICTを有効に使い、「まとめ・表現」の場面ではミニホワイトボードを活用し、伝え合ったり学び合つたりすることで深い学びを実現していきたいと思います。

また、プログラミング的思考の育成については、教育用小型コンピュータボード（マイクロビット）などを活用して、実践を積み重ねています。

## 深い学びを支えるICTの日常的な活用モデルの確立

### 出川小学校

学校の紹介をします。学校で実践に役立つようにして、その中で、継続校の出川小学校、西部中学校、石尾台中学校の紹介をします。

るプログラミング的思考の育成についても、カリキュラムを開発し実践を進め、市内各校で実践に役立つようにしていきます。

今年度は特に、学習過程の中で「情報の収集」「整理・分析」の場面でICTを有効に使い、「まとめ・表現」の場面ではミニホワイトボードを活用し、伝え合ったり学び合つたりすることで深い学びを実現していきたいと思います。

本校では、生徒指導に関する事案が以前よりも減少傾向にある中、不登校生徒の増加が大きな課題となっています。そこで、生徒の自己肯定感を高め、安心して自分の居場所を感じられるような取組を進めています。

生徒会の朝のあいさつ運動では、議員や委員会の生徒も参加し、登校した生徒に対して、元気なあいさつをしていります。また、放課の「外遊び」企画では、貸し出すラケットが不足するほど参加者が多く、運動場が遊びを楽しむ生徒でいっぱいになりました。

三つ目は、地域人材を活用したキャリア教育の推進です。地域の方々を講師として招く講話会や、地域の事業所での職場体験を通して、学びを深めています。

これらの活動により、生徒にとって地域の認知・勤労



芸能発表会での吹奏楽部の演奏

三つ目は、地域人材を活用したキャリア教育の推進です。地域の方々を講師として招く講話会や、地域の事業所での職場体験を通して、学びを深めています。

これらの活動により、生徒にとって地域の認知・勤労

文化部の活動では、合唱部や吹奏楽部が地域の行事に参加して演奏したり、囲碁将棋部が福祉施設を訪問して対局をしたりするなど、地域に根ざした活動を積極的に行っています。地域の方々に楽しみながら西部中学校を理解していただくと同時に、生徒も地域で認められ、やりがいを感じています。



石尾台夏まつりのボランティア

中学生になると勉強や部活動などの学校生活が中心となります。また、思春期を迎え、家族とともに地域の行事に参加する機会も少ないです。そこで本校では、地域・社会に貢献、地域にとつては生徒理解が深まっています。今後も貢献、地域にとつては生徒理解が深まっています。今後も継続し、地域への所属意識（地域愛）の高い生徒の育成に努めています。

## 生徒の育成をめざして 石尾台中学校

中学生になると勉強や部活動などの学校生活が中心となります。また、思春期を迎え、家族とともに地域の行事に参加する機会も少ないです。そこで本校では、地域・社会に貢献、地域にとつては生徒理解が深まっています。今後も貢献、地域にとつては生徒理解が深まっています。今後も継続し、地域への所属意識（地域愛）の高い生徒の育成に努めています。



芸能発表会での吹奏楽部の演奏

三つ目は、地域人材を活用したキャリア教育の推進です。地域の方々を講師として招く講話会や、地域の事業所での職場体験を通して、学びを深めています。

これらの活動により、生徒にとって地域の認知・勤労

積極的な参加です。石尾台地区の長寿を祝う会では、吹奏楽部が祝賀演奏を披露し、押沢台地区で開催されるアート展では、美術部が作品を出展しています。

二つ目は、地域の催しへの積極的な参加です。石尾台地区の長寿を祝う会では、吹奏楽部が祝賀演奏を披露し、押沢台地区で開催されるアート展では、美術部が作品を出展しています。

### 検討を重ねる指導案づくり

藤山台小学校

本校は本年度より、愛日地方教育事務協議会より学習指導の研究委嘱を受け、継続的な授業改善に取り組んでいます。

校内の研修サイクルは、学年での指導案の検討・作成から始まります。特に注力しているのは基礎学力の向上で、考え方や課題解決の手順の説明に繰り返し取り組む場面



### 教育雑感

トマトにねえ、  
いくら肥料やつたつてさ、  
メロンにはならねんだなあ。



教職員研修委員長  
内藤 昇校  
(中部中学校)

トマトだ。い  
くら手間ひま  
かけてもメロ  
ンになること  
はない。トマ  
トを無理やりメロンに育てる  
必要はなく、トマトの持ち味  
を大切にしたい。

人にもいろいろなタイプが  
ある。細かい計画を立てるこ  
とが得意な人がいれば、計画  
性よりも実行力が優れてい  
ます。

トマトには、  
いくら肥料やつたつてさ、  
メロンにはならねんだなあ。  
相田みつをさんの名言であ  
る。トマトは

トマトだ。い  
くら手間ひま  
かけてもメロ  
ンになること  
はない。トマ  
トを無理やりメロンに育てる  
必要はなく、トマトの持ち味  
を大切にしたい。

人にもいろいろなタイプが  
ある。細かい計画を立てるこ  
とが得意な人がいれば、計画  
性よりも実行力が優れてい  
ます。

トマトには、  
いくら肥料やつたつてさ、  
メロンにはならねんだなあ。  
相田みつをさんの名言であ  
る。トマトは

トマトだ。い  
くら手間ひま  
かけてもメロ  
ンになること  
はない。トマ  
トを無理やりメロンに育てる  
必要はなく、トマトの持ち味  
を大切にしたい。

人にもいろいろなタイプが  
ある。細かい計画を立てるこ  
とが得意な人がいれば、計画  
性よりも実行力が優れてい  
ます。

トマトには、  
いくら肥料やつたつてさ、  
メロンにはならねんだなあ。  
相田みつをさんの名言であ  
る。トマトは

トマトだ。い  
くら手間ひま  
かけてもメロ  
ンになること  
はない。トマ  
トを無理やりメロンに育てる  
必要はなく、トマトの持ち味  
を大切にしたい。

人にもいろいろなタイプが  
ある。細かい計画を立てるこ  
とが得意な人がいれば、計画  
性よりも実行力が優れてい  
ます。

かを考へます。次に模擬授業を行ひ、意見交換をすることで、指導案の修正を図ります。さらに、低・中・高の学年ブロックで再検討をし、わざりやすさを向上させます。そのように準備を重ね、第一回校内授業研究会を行いました。当日は東京学芸大学の高橋純先生を講師に招き、ICT活用場面の評価や、資料を比較して読み取る視点など、

人もある。みんなをまとめリーダーがいれば、自分のやるべきことを地道に仕上げていく人もいる。人にはそれぞれ能力があるが、その能力にはいろいろなタイプがあるのだ。人と比べて自分の足りないものを嘆くより、自分の方を見極め、それに磨きをかけたいと思

科学技術は驚くほどの速さで進歩している。AIの普及、自動運転の車など、今まででは「人」が動かしていたものを「テクノロジー」が動かす社会に移行しようとしている。

しかし、それでもなお「人」でなければできないことは数多い。どんな人にも、その人にしかない能力がある。必要とされるフィールドが必要である。未来を生きる子どもたち。その能力を伸ばすために学校ができることは何か。みんなで考えていきたいと思う。

を、いかに効果的に設定するかを考えます。次に模擬授業を行ひ、意見交換をすることで、指導案の修正を図ります。さらに、低・中・高の学年ブロックで再検討をし、わざりやすさを向上させます。

新たな授業づくりへの示唆をいただきました。

今後は共有した協議内容と併せて、次の授業研究に向けた課題をとらえ、指導案の作成に取り組んでいきます。そして、そのような指導案検討会を通して、新たな授業づくりへの示唆を



学年ブロックによる協議会

### 地域に見守られて育つ「鳥小つ子」

鳥居松小学校

本校は明治四十二年に鳥居松尋常小学校として誕生し、明治・大正・昭和・平成という激動の一世纪を経て、新しい元号「令和」の時代を迎えました。校庭には、百周年を記念してつくられたモニユメント「えがおー」があり、毎日子どもたちを見守っています。

科学技術は驚くほどの速さで進歩している。AIの普及、自動運転の車など、今まででは「人」が動かしていたものを「テクノロジー」が動かす社会に移行しようとしている。

しかし、それでもなお「人」でなければできないことは数多い。どんな人にも、その人にしかない能力がある。必要とされるフィールドが必要である。未来を生きる子どもたち。その能力を伸ばすために学校ができることは何か。みんなで考えたいと思う。

提供してくださいます。

他にも、地域の方々が登下校の見守りや秋の落ち葉清掃に参加してくださるなど、様々な場面で本校の教育活動を支えていただいています。五月には三世代交流を目的とした「ふれあいフェスティバル」も開催されました。子どもたちは保護者や地域のお年寄りと一緒に、グランドゴルフを楽しんだり、手作りの焼きそばをみんなで頬張ったりと、楽しい休日のひとときを過ごしました。

### しま学校で

本校は明治四十二年に鳥居松尋常小学校として誕生し、明治・大正・昭和・平成という激動の一世纪を経て、新しい元号「令和」の時代を迎えました。校庭には、百周年を記念してつくられたモニユメント「えがおー」があり、毎日子どもたちを見守っています。

科学技術は驚くほどの速さで進歩している。AIの普及、自動運転の車など、今まででは「人」が動かしていたものを「テクノロジー」が動かす社会に移行しようとしている。

しかし、それでもなお「人」でなければできないことは数多い。どんな人にも、その人にしかない能力がある。必要とされるフィールドが必要である。未来を生きる子どもたち。その能力を伸ばすために学校ができることは何か。みんなで考えたいと思う。

本校は明治四十二年に鳥居松尋常小学校として誕生し、明治・大正・昭和・平成という激動の一世纪を経て、新しい元号「令和」の時代を迎えました。校庭には、百周年を記念してつくられたモニユメント「えがおー」があり、毎日子どもたちを見守っています。

科学技術は驚くほどの速さで進歩している。AIの普及、自動運転の車など、今まででは「人」が動かしていたものを「テクノロジー」が動かす社会に移行しようとしている。

しかし、それでもなお「人」でなければできないことは数多い。どんな人にも、その人にしかない能力がある。必要とされるフィールドが必要である。未来を生きる子どもたち。その能力を伸ばすために学校ができることは何か。みんなで考えたいと思う。



ふれあいフェスティバル

